

① SDSU 夏季語学研修に参加して

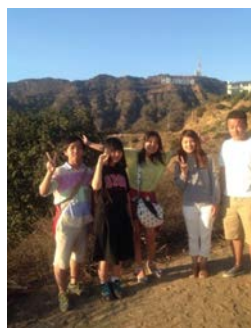
経済学部 1 年 平岡 茉林

1ヶ月間サンディエゴで私はたくさんのことを学んだ。ひとつは自国のことを理解し、自分の意見をしっかり述べることの重要性だ。全ての授業でグループごとに自分の意見を述べる機会があり、下手でもなにか一言述べることでみんなが耳を傾けてくれ、お互いを理解し合う最初の一步になることを実感しとても感動した。ホストファミリーとの会話も英語を学ぶ最高の機会だった。しかしながら「以前ホームステイしていた日本人がおもしろい日本の歴史を教えてくれたから、あなたも日本のことを教えて」とホストマザーに言われたとき、私は何も伝えられなかった。それは、英語が上手

く使えなかったからではなく、日本のことを何も知らなかったからだ。実際、自分の思い出について話した時は、流



暢でない英語であったのにも関わらず、熱心に話を聞き理解してくれたおかげで、少しだけ自信を持つことができた。韓国人のクラスメイトと友達になって買い物やランチに出かけたのも学ぶことが多かった。韓国の学校の話や、熱心に勉強する姿勢にも刺激を受けたし、英語の単語帳や教科書ではなかなか学ぶことのできない日々の会話で使える言い回しを彼女からたくさん教わった。とても役に立ったと思う。



週末にはホストマザーとルームメイトとたくさんの場所にでかけた。美しい歴史的建造物や、自然を訪れることでサンディエゴの素晴らしさを知れた気がする。最終日に行った音楽フェスティバルでは、様々な音楽に合わせて自由に踊る人も

いれば、夫婦で寄り添って耳を傾けているお年寄りもいて、とても幸せな気持ちになれた。サンディエゴは、また訪れたいと思う場所になったが、それと同時に日本の良さも知ることができた。日本製の商品はクオリティが高いと思わ

れているし、日本製の車は特によく見かけた。日本の繊細さやこだわりを誇りに思う。もっと世界を知りたいと思う1ヶ月だった。出会った人々、家族、友人、先生方に感謝する。



② 夏季語学研修 サンディエゴ

経済学部 1 年 神田 佳祐

私は九月からの一か月間での勉強面について話します。

まず、最初の登校日にプレースメントテストがありました。科目はスピーキング、ライティング、そしてリスニングでした。ライティングのテストは普段日本で解いている問題より簡単で、リスニングは日本で使っているものと同じようなものでした。一番苦戦したのがスピーキングでした。先生とマンツーマンで会話をする形式でした。先生が“日本での休日の過ごし方は？”、“英語の勉強の仕方は？”などの質問をし、その答えからさらに深く話していくというような感じでした。先生が話していることは理解できるのですが、自分の意見を話すことが大変でした。理由は明らかで、今まで英語を勉強してきた中で、英語を話す機会があまりにも少なかったからです。

学校ではオーラル、文法、ライティング、リーディング、リスニングクラスに分かれて勉強しました。オーラルではペアワーク、文法では完了形や前置詞の使い方、ライティングでは word を使った文章構成の練習、リーディングでは物語を読んだ後にディスカッションを行い、リスニングでは映画をみて問題に答えるなどと日本とは違った勉強内容でした。

クラスは各20人程度で、約半分が日本人であり、ブラジル人、中国人、韓国人、サウジアラビア人が何人かいました。日本人以外の人種がいる中での授業を受ける中で、かなり刺激を受けました。日本人以外の方は自己表現がとても上手く、英語を話すのもかなり上手だったからです。そしてみんなが発言し、授業が活気的でした。日本に帰ってきて何時間か講義を受けましたが、ちょっと寂しい感じがしています。

一か月では英語のスキルが変わることは期待していませんでしたが、アメリカに行く前に比べて聞く力はついたと思います。しかし、慣れ始めたころに帰国しなければならなかったのが、非常に残念です。ですが、一か月だけでも収穫はたくさんありました。外国の人と一緒に授業を受けて気づけたこと、英語を話すための勉強方法、現地の人たちとの会話するときの礼儀、アメリカの文化などあげればきりがありません。

今回このプログラムに参加して本当によかったと思うと同時に、絶対に戻って勉強したいと強く思うようになりました。



があるとその場で担当の先生に質問を納得するまで繰り返していました。日本の学生は受け身で講義に参加することが多いので、当たり前のことですが目的意識を持って学習をする重要性を改めて感じました。次に日本の英語の授業とアメリカでの授業の内容の違いに驚きました。日本の英語の授業は座学での暗記が中心となっていたが、アメリカでの英語の授業は座席についている時間が圧倒的に短く、クラスメイトとの会話などの時間が授業の大半を占めていました。特に印象に残っているものが、授業中にキャンパス内を数人のグループで散歩し、その時に感じたことを自由に英作文するというものです。このように授業は少人数制で先生や他国の学生との距離がとて近く充実したものとなりました。また、授業の選択の幅が広いことも印象に残っています。月曜日から木曜日は英語での討論や英会話などの授業が中心でしたが金曜日は様々な授業やプログラムから選択が可能でした。キャンパス付近での海でサーフィンをするものや、洋画を見るものなどがありました。私はトール対策の学習をするものと世界の文化遺産を文法の知識を用いて学習するという授業を選択しました。どちらの授業も他国の学生と会話をする機会が多くありとても刺激を受けるものとなりました。

1ヶ月という短い期間でしたが、このアメリカでの経験を活かし今後も英語の学習に懸命に励みたいと思いました。また、大学生活を目的意識を持ち積極的に過ごすものになりたいと思います。



③ 夏季語学研修の感想

経済学部 1年 堀川 知



私は今年の8月末から9月末までの1ヶ月間、アメリカのサンディエゴ州立大学での語学研修へ参加しました。現地の大学での学習は日本

でのものとは大きく異なり、毎日が驚きの連続でした。

まず、他国の学生と日本の学生との授業に対する姿勢の違いを感じました。他国の学生は全ての授業で疑問点

※ 記載の学年はすべて参加当時(2014年度)のものです。